

2014

平成26年度文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



7月19日(土)

7月20日(日)

制作 J-Theater

制作 新国立劇場

★12:00～14:00 受付開始 11時30分～

レクチャー&演劇ワークショップ

対象：中学生以上

「能」を紐解きながら「近代能楽集」の魅力を掘り下げるレクチャー。講義、演技指導を受け、実際に三島演劇を体験していただきます。

講師 篠本賢一・小林拓生・黒川逸朗

★15:00～16:00 受付開始 14時30分～

リーディング

三島由紀夫作 近代能楽集より

綾の鼓

演出・出演

篠本賢一 (「遊戯空間」主宰、日本演出者協会常務理事)

出演 佐々木梅治

黒川逸朗

高岩明良

小林拓生

内田里美

神保麻奈

大竹宏枝

★13:00～15:30頃 受付開始 12時15分～

リーディング

三島由紀夫作 近代能楽集より

邯鄲

演出 宮田慶子 (新国立劇場演劇芸術監督)

出演 木村了

西村壮悟

チョウ ヨンホ

川口高志

寺内淳志

一柳みる

仙崎貴子

北澤小枝子

森川由樹

デシルバ安奈

アフタートーク

宮田慶子 × 松本 徹 × 井上隆史

(三島由紀夫文学館館長) (白百合女子大学教授)

参加費：無料

会場

山中湖村公民館

山梨県南都留郡山中湖村山中 448

TEL 0555-62-4386

お問合せは、三島由紀夫文学館までお願いいたします



お申し込み方法

個人情報につきましては、第三者への開示、提供、または目的以外の使用等は、ご本人の承諾を得た場合を除き、一切いたしません

電子メール、FAX、往復ハガキのいずれかで、

1) 住所、2) 氏名、3) 電話・FAX 番号、4) 参加をご希望のイベント番号 (複数可) を必ず明記の上、三島由紀夫文学館までお申し込みください。(メール・FAXは7月18日締切。往復ハガキは、7月11日必着)

イベント番号 { ① 7月19日 レクチャー&演劇ワークショップ
② 7月19日 リーディング「綾の鼓」
③ 7月20日 リーディング「邯鄲」・アフタートーク

なお、複数名でお申込みの場合もそれぞれの、

1) 住所、2) 氏名、3) 電話・FAX 番号、4) 参加をご希望のイベント番号 の明記をお願いいたします。

※ 受付は先着順。人数に余裕がある場合は当日参加も可能です ※ 未就学児童のご参加はご遠慮させていただきます

※ お申込みには必ず返信いたしますので、4日以上(往復はがきは7日以上)経っても返信がない場合は、再度お問い合わせください。

お問合せ・お申し込み先

三島由紀夫文学館 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296

TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656 メール info@mishimayukio.jp

ホームページ http://www.mishimayukio.jp

山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

入館料：大人500円、高校・大学生300円、小中学生100円※10名様以上から団体料金(50円引)※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館 両館共通チケット・開館時間：10時～16時30分(入館は16時まで) 休館日：月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日、資料点検日(不定期)※4月28日～5月6日の間は月曜日も開館 主催：山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・山中湖村教育委員会

7月19日(土)

制作 J-Theater

レクチャー&演劇ワークショップ
講師：篠本賢一・小林拓生・黒川逸朗

三島由紀夫は能楽の何を破壊し、何を再生させたのか。原曲との比較の中で近代能楽集の魅力を追体験します。

対象：中学生以上

—あらすじ—
法廷事務所で働く70歳になる岩吉は、向かいのビルの洋菓子店に現れる責務人・華子に想いを寄せている。その想いは強く、事務員の加代子に毎日恋文を届けてもらっていた。ある日、華子と一緒に手紙を盗んだ取り巻きたちが悪さを企て、決して鳴ることのない「綾の鼓」に、「鼓の音が届いたら華子が思いを叶える」と書いた手紙を添え、岩吉に渡す。岩吉は喜び、鼓を打つが...

リーディング 「綾の鼓」

三島由紀夫作 近代能楽集より

1983年に遊戯空間を演劇化。1991年より故郷世茶夫に師事、17年間能のメソッドを学び、古典芸能を視野に据えた現代劇創作を続けていく。俳優としても、木下順二作『子牛 綾の祀り』などに参加。2001年ソウルで近松門左衛門『曾根崎心中』の「徳兵衛」を演じた。現代詩とのコラボレーション『詩×劇』では、福島在住の詩人知念一朗の詩をテキストにした舞台も数多く手がけている。また、シニア演劇の指導も10年以上行っている。現在、日本演出者協会常務理事、映画甲子園審査委員、杉並演劇祭審査委員などの任につく。主な演出作品：三島由紀夫『近代能楽集』泉鏡花『掌達密』『夜叉ヶ池』『天守物語』『肩かくしの霊』『会教授しリーディング』飯名手本忠臣流、『室内オペラ』夕日の耳』。

演出
篠本賢一



出演

佐々木幹治、内田里美、黒川逸朗、神保麻衣、高岩明良、大竹宏枝、小林拓生、篠本賢一

【開演時間】午前10時~午後4時30分(入館は午後4時まで)

【入館料】

一般	高校・大学生	小・中学生	
個人	500	300	100
団体	450	250	50

※団体料10名以上 第三島由紀夫学塾 臨高演劇部 両部が運営中心

三島由紀夫

1925年~1970年

本名平岡公威。東京生れ。10代初期から小説を書き始め、たぐい稀な才能を発揮。学習院を経て、東大法学部卒業。在学中に「花ざかりの森」を出版。大蔵省に任官するが退職し「仮面の告白」で一躍、文壇の寵児となる。以後、小説だけに留まらず、戯曲、評論、役者など多彩な活躍を続けた。また、三島文学は、世界各国でも翻訳され、出版されている。代表作は、「仮面の告白」「潮騒」「金閣寺」「サド侯爵夫人」「豊饒の海」など。

近代能楽集

古典芸能である能を三島が現代化したもの。時代を超えて人間の普遍的な部分を表現している作品集である。

主催：三島由紀夫学塾・山中湖村教育委員会

7月20日(日)

制作 新国立劇場

—あらすじ—
次郎は、自分を育ててくれた前を訪ねる。前は、那那という里の枕を持っており、その枕で寝ると、見た夢のせいで世の中のものもかまが馬鹿らしくなり、枕に出て行方不明になってしまうという。すでに、自分の人生はもう終わっていると思っている次郎は、自分にはその枕の効果はないと、その枕を使って寝てしまおう...

リーディング 「那那」

三島由紀夫作 近代能楽集より

1980年、劇団青年座(文芸部)に入団。朝歌劇、近代古典、ストリートプレイ、ミュージカル、オペラ、商業演劇、小劇場と多方面にわたる作品を手がける一方、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流に積極的に関わり組んでいる。第29回紀伊國屋演劇賞個人賞(MOTHER)、第5回読売演劇大賞優秀演出家賞(『フエヒコ』)、98年芸術選奨文部大臣新人賞(『ライオン』)、第43回毎日芸術賞(千田是也賞・第9回読売演劇大賞優秀演出家賞(『赤シャツ』『悔しい女』『サラ』)など受賞。新国立劇場では、『朱徒家の滅亡』、『負傷者 16人-SIXTEEN WOUNDED-』、『るつば』、『ピクニック』等を演出。2010年9月より新国立劇場演劇芸術監督。

演出
宮田慶子



出演

木村了、一柳みる
西村壮悟、山崎貴子、チョウヨンホ、川口高志、北澤小枝子、森川由樹、寺内淳志、テシルハ安奈

アフタートーク
宮田慶子 × 松本 徹 × 井上隆史

演出家・宮田慶子氏を中心に、三島演劇の魅力などについて語り合います

平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



【休館日】

月曜日(御祭日の場合はその翌日)、12月20日~1月3日、資料点検日(不定期)
※4月28日~5月4日の間は月曜日も休館

【交通のご案内】

路線バス ▶ 富士山駅(富士吉田)から25分、朝陽通りから40分
文学の森公園駅前(文庫)下車 徒歩5分
高速バス ▶ 中央高速(又山中湖) (他日丘(又夕ヶ丘))下車 徒歩15分
7ヶ所等 ▶ 山中湖に、から国道138号線を山中湖方向へ4km

山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296

TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656

http://www.mishimayukio.jp/